

与那覇区との行政懇談会	
日 時	平成 30 年 8 月 2 日 (木) 午後 7 時～9 時
場 所	与那覇コミュニティセンター
参加人数	37名 (男 29名、女 8名)



【町長あいさつ】

みなさんこんばんは。只今ご紹介がございました南風原町長の赤嶺正之でございます。どうぞ宜しくお願いします。

本日は、字与那覇区の行政懇談会と言うことで、ご案内しましたけれども、日中のお仕事でお疲れの中かと思えますけれども、こういった形で出席していただき本当にありがとうございます。感謝致します。本日は字与那覇区の方から、ご意見あるいはご提案等ですね、五点を出させておりますけれども、これらに関しましては、これから担当の方からですね、ご説明をさせていただきます。本日は町与那覇区の皆様から、いろいろご意見等ご提案等を承っております。これからの南風原町のまちづくりに振り返っていきたいという風に考えております。皆さんご承知かと思えますけれども、私の選挙における公約と申しますか、町民が主人公のまちづくりと町民が主役のまちづくりという政策を掲げて参りました。こちらに関しましても、こういった形で町民の皆様と区民の皆様と親しくお話をし意見交換を経て、皆様方のお知恵を拝借、アイデアを拝借しながらですね、まちづくりに活かしていきたいという風に考えておりますので、どうぞ、これからも一緒になって協働のまちづくりに取り組んで頂きますよう、ご協力ご理解の程お願い致しまして私の挨拶と致します。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

【区長あいさつ】

本日は町より赤嶺町長をはじめ町の三役、担当部課長の方々、多くの方にお越し下さいまして誠にありがとうございます。かねてより、与那覇では区民の方々から町へのいろいろな相談や要望の機会を作ってほしいという話がありました。そこで行政懇談会を開いて欲しいという話が出てきて、それで与那覇では本日の行政懇談会に向けて広報誌与那覇だよりでも、質問や提案を募集したり、また審議委員会でも議題に取り上げてきました。本日はバイパスの進捗状

況やお譲りエリアの設置等、五つの要望や質問を分け、答えて頂く機会となりました。区民の方々にも直接聞きたい事などを聞ける良い機会だと考えております。住み良いまちづくりへ繋がる行政懇談会と考えておりますので、区民の方々にも、いろいろ聞きたいことがあれば質問をして思いや考えを伝えてほしいと思います。本日はお忙しいところ多くの方々にお集まり頂きまして、誠にありがとうございます。本日はどうぞ宜しくお願い致します。

【質問及び提案】

質問1 南風原・与那原バイパス進捗状況について

(工事の期間・安全対策・供用開始時期等)

A) 本事業は、国の事業であります。以下、南部国道事務所からみなさんの質問に対して回答したものが資料へ記しております。工事の期間でございますけれども現在、南風原バイパスで7ヶ所、与那原バイパスで1ヶ所の工事が発注されております。与那覇北側の方が与那原バイパスの工事が発注されてる状況でございます。全て平成31年、来年の2月には完了見込みという事で南部国道事務所からお聞きしております。工事の安全対策につきましてですが、現在、与那覇集落の北側方向で与那原バイパスの工事、株式会社大米建設が工事を進めております。残土の搬出につきましては、集落内を通行しない経路で土砂運搬をしておりますが、通勤等その他の場合においても、事前に運転手へ集落内の通行を避けるよう指導を徹底する事と合わせて、工事現場付近には警備員を配置し、歩行者及び児童の交通安全を徹底して参ります。供用開始まででございますけれども、新川交差点からイオン南風原交差点までの南風原バイパスの区間につきましてですが、こちらにつきましては、平成30年度に暫定供用として側道の2車線を開通するよう取り組んでいるという事でございます。与那原バイパスにつきましては、文化財発掘調査等もありまして、現在30年度の供用開始を目標としておりますが、与那原と南風原において文化財発掘調査等もございまして開始時期につきましてはずれ込むという回答がございまして。

Q) 今回、国の事業ということであると思うんですけど、高架部分があるという事で、丁度ファミリーマートがあるところですね、土砂を崩している、工事を進めている最中だと思うんですけど、南部国道さんのホームページで確認してみても画面図の中に、例えば高架橋だったら遮音壁とか、通常、住宅街のところだったら有ると思うんですけど、そういったのも見あたらなかったものですから、そういったものも含めて、もし可能であれば国の方から地域の方に説明があるのであれば有り難いなと思っております。

A) 遮音壁というのは騒音防止の為のものでございますけれども、現在アセス

をした段階ではクリアしてるという事で、遮音壁の設置というのは計画されていないと聞いております。ただ交通量が増えたりして、それを超える様な状況があった場合には設置出来るようにしていくという風に聞いております。

Q) 今、工事やっていますよね与那覇の後ろの方。工事が長らく続くと思うんですよ。その時にトラックが出入りしますよね、そのときにホコリがたつて家も開けられないと。洗濯も干せないと。網戸も開けられない状態だから、それをどうにかしてもらえないかというお話があったんです。今日でお話して、そういった対策がとれなければ、それ一帯の所にネットを張ってもらいか何か対策をしてもらえれば、いいんじゃないかなと、そういう意見がありました。

A) 地域の苦情等対応するために、国道事務所のほうに対応してもらえる様に伝えたいと思います。

質問 2 与那覇区内道路の改善処置要請について

(お譲りエリア等の設置)

A) 指摘の箇所は、道路渋滞時に円滑な通行が出来ない事を認識しております。以前より与那原警察署、南部国道事務所への改善要求を行って参りました。平成 28 年度 11 月には、与那覇区長・与那原警察署・南部国道事務所（南部出張所）・南風原町の担当者の四者で協議を行い、車両停止線ではなく、お譲りエリアの設置を南部国道事務所へ要請しております。今後も早期実現実施に向けて継続的に要請をして参ります。宜しくお願いします。

Q) 平成 28 年 10 月 21 日に与那覇区より要請しております、お譲りエリアの設置ですね、現状で地域の方の中には、通勤時・混雑時には、ここを通らない。渋滞にハマってしまったら、例えば国道から曲がって大里向けに車が通れなくなったりするので、もう入れない。そこは使わずに「いろり亭」の方に迂回して抜けていくという方も多々いるって聞いているんです。そう言うことも考えながら早めにここは、どうしても開けて欲しいと。その区間、駐停車禁止にすると、与那原署の方の話によると、たまたま後ろにパトカーが居たら検挙せざるを得ませんよという事もありましたので、お譲りエリアの方がいいんじゃないかなという事になっているはずなんです。それで要請しておりますので、一日も早くこの問題に関しては解消して解決して頂きたいとお願いでございます。宜しくお願いします。

A) 我々、町としてもですね、ここの交通渋滞を緩和しないといけない箇所として認識しておりますので、一刻も早い実現が出来るよう区長さんと一緒に連携しながら要請して、実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

Q) 私、案件の近くに住んでいます。実施に向けて継続的に要請を行って参りますとの事ですけど近くに住む人間からすると、いつまで要請すればいいですか？と。実はこの件、3年ぐらい前に区長から電話がきて、役場からこの件で急遽、付近の住民から意見を聞きたいという事で役場で担当の方と色々話をして、下手すると3年ぐらい経つんじゃないかなと思います。もちろんすぐ出来るものじゃないと思いますけどね、3年経って要請を継続していくと言うことは我々からすると、どうなんだろうなど。今、区長も言っていましたけど非常に通りにくくなっています。取り組んでから、3年経ってもまだ要請となると我々からすると、ちょっとどうかなと気がする。やっていらっしやらないと言うわけではないのですが、こういう事について少しゆっくりだなと気がしたものですから、なるべく早く出来ればと思います。もう要請とは言わないで、なんとかしてもらいたいと思います。

A) 重複しますが、早期実現に向けて鋭意努力して参ります。

質問3 緊急時・災害避難時の要支援者について

(緊急時・災害避難時の要支援者について町としてはどのような対応をとることになっているのか)

A) 災害発生時には、南風原町地域防災計画及び災害時要支援者避難支援計画というのがございますので、その計画に基づいた対応をしていく事となります。それから更にですね、個別に支援が必要な方々がいらっしやいますので、個別に支援が必要な方々については本人の同意のもと、個別支援計画を作成しております。今、個別支援計画を随時、社会福祉協議会とも協力しながら1人ずつ支援計画を作成している所でございます。

Q) 個別に支援が必要な方についての個別計画ですけど、具体的にはどういう風に策定したんですか？事例じゃなくて考え方としてお願いします。

A) 要支援者の定義としましては、高齢者、それから障がいのある方、乳幼児、妊産婦、外国人まで含まれてきます。観光客もですね。そういった方も言葉の壁もございますので、そういった方々も含めて要支援者というのがございます。そういった中で、特に個別の支援計画が必要という方は医療的ケアが必要な自宅で介護されてる家庭ですね、それから高齢者の一人暮らしとか、そういった風に誰かが支援しないと自分では避難できない方々。それぞれ一人暮らしの方とかも含めて障がいもっている方々、役場にはリストがございますので、そういったものを、それぞれ社協、民生員さんと協力しながら、そのお宅に訪問して例えば「どこの病院に行ってますか？」とか「緊急時には、どなたか移動される方がいますか？」とか、それぞれ個別に計画プランを立てていくという風な事で今それを随時、お家訪問して少しずつ取り組ん

でいるところでございます。

意見) 私、町の音訳サークルやっているんですけど利用者の方、視覚障害者の方ですけど、その方とたまたま話す機会があったんですけども、その方今、喜屋武に住んでいらっしゃる。その方の近くに視覚障害者の女性の方が引っ越ししてきたと。隣のアパートですね。どういう事かという、いつもタクシーを使って何処かに行ってるという風な事でした。私の知人が言うには社協か役場は、障がい者の方が引っ越してきたら、あるいは転居したら、そう言ったこと分かるのかな?と言ってるんですね。分かれば車を使わなくても助成援助というのも出来るのになと言っていたんですね。個人情報があって出来ないかもしれませんが、自分達にそういう情報を流してもらえると社会資源の活用、自分達からも説得すること出来るけどなと仰ったものですから、色々難しいとは思いますが、そういう声が視覚障害者の方からそういう話がありましたので、その辺なにか考えられるかなと思わせて。

Q) 緊急時・災害避難時の要支援者については、その様な状況が発生した場合、まず自助（自分で動く）次が共助（お互いに助け合う）・公助の順だと私は理解しているんですけど、まずその第一段階の要支援者って言うことは最初の段階の自助が自分で出来ないという事なんですよ。その人に対して今お答えになっているのは、個別にプランを作っているところでございますとあったんですけど、それ以外に台風とかの時、高齢・独居世帯、一人暮らしの高齢者とか台風になると、窓とかも閉めてると思うんですけど、防災無線そういう放送もおそらく聞こえないと思うんですよ。そこで高齢者の人達おそらくパソコンとかも中々使う人も少ないと思うんですけどね。情報弱者に対して、どのような計画でいるのかという質問をさせて頂きたい。

A) 実際あった例で、台風 10 号でかなり直撃すると予想がありまして、その時は避難準備、高齢者等避難監視を 8 時頃に出しました。その時に独居の高齢者の方がいまして交通手段がないとありましたので、民生部と連携して職員が、避難所となっている役場の 6 階に暖をして、落ち着いた頃本人が大丈夫だという事で、朝方 5 時には帰りたいとの事で送り迎えして対応をこの間しました。

Q) 酸素器具を付けている方がいますよね、ベッドみたいな車いすがありますよね。夫婦二人では移動出来ない方がいますよね、そういう方はどういう風に対応してるか、どういう対策をしてるのか、例えば一つの例として一人暮らしのおばあちゃんがいたんですよ。一人暮らしだからという事で消防の方から、何かあった場合はボタンを押すという事で、おばあちゃん緊急ですから電話も取れませんよね。南風原町として、そういう対策の方法を考えて

いるのか、どういう風な対策をしてるのか一番知りたい事なんです。早め早めに町の意見も聞いて自分達与那覇も、それに一緒になって一人でも多くの人を助けてあげたいというのが与那覇部落の主旨なんです。町として何年ぐらいから、そういう対策はやっておられますか？

A) 一人暮らしの高齢者の方で支援が必要な方々、緊急通報システムというのがございまして、さっき仰っていたのはそれだと思のですが、ペンダント、ネックレスみたいなものでボタンがあって、あるいは壁につけてそれを押すと消防又は関係先に 24 時間すぐ連絡がいて。それをやって数十年経ちます。必要な方々はそれを利用すると。先程の例えば人工呼吸器を使っている方や、障がい抱えている方、そういった方については先程申し上げました個別の計画を立てていると。個別の計画というものには、地域の支援者の連絡先とか、それから医療機関はどこに行っているとか薬はどういったの飲んでいとか災害時の時はどこに避難しましょうと、そういった経路とか手伝ってくれる方、緊急時の家族の連絡先、全部それを一人一人作る事になっています。今取り組んでいるところです。特に、まずは医療的ケアが必要な方々から先に、この計画を立てていると。含めて地域の医療機関とも医療的ケアが必要な方々の避難受け入れ先として、町と協定を結んでやっていきたいと思いますという事で近々協定結ぶ準備をしております。それから地域の保育所。認可保育園、与那覇も与那覇保育園がございまして。町内 16 の認可保育園の園長先生の方々にも理解して頂いて、保育所が町と、緊急時の場合に乳幼児を抱えている家族の避難先として協力しますと言う協定も近々結ぶ予定となっております、今町としては避難が必要な方々の避難先確保についても取り組んでいる最中でございます。

Q) 個別にプランを作っているところとあったんですけど、いつ頃出来上がる予定なんですか。

A) 医療的ケアについては、それぞれ個別的、個人的に同意を得て作っていくものですから一人の方がまだ同意が得られてないのですが、後は必要な方全部出来てます。後は随時社協とも一緒になって取組中ということでございます。

Q) 南風原町として、そういう防災について避難所とか、そういう訓練というのは行われていたんでしょうか？地域の方だけじゃなくて町の全体で防災に対しての意識改革が必要じゃないかと感じました。町としての取組が分かればありがたいなと思います。

A) 町として、これまでイオン南風原店での全体的な防災訓練、津嘉山 JA さんの場所、2 年前には翔南小学校のグラウンドを使って町全体で防災訓練を行ったところであります。今回の大雨の被害等ありましてですね、今度 9/1

には全体ではなく防災本部という事で、我々自身が町の本部がどうするかと迅速に動かないといけないと考えておまして、今回は我々三役、部課長全体で災害が起こった時の指揮系統を含めた訓練をやる予定をしております。

Q) 災害本部での訓練というのは聞いたことあるんですけど、町全体で、それに対してみなさん考えましょと、そういうのが伝わってこなかったというのが印象なんです。

A) 周知が遅れたことは、今実際分からなかったという声がありますので、今後周知、防災について意識は広めていきたいと思えます。地域としては、東新川区が地域として自主防災訓練、地域として行っていますので、そういった事も周知してですね、各字の自治会体での訓練が出来るように連携して行きたいと思っています。

Q) 与那覇区としても、与那覇区は避難場所ではあるんですね。そこに食糧だったり水だったり備蓄はある。与那覇としても避難訓練だったり、昔は何か災害があった場合には区長が自警団長となって、地域の方々がじいちゃんばあちゃん確認をして避難場所としての訓練を区としてもやるべきだなと感じました。それを町に報告して、マニュアルに沿った訓練が必要だなと感じました。

質問4 町道1号線マンホールの管理について

(4班掲示板前等の町道1号線マンホールの管理について)

A) 与那覇、現298番地周辺というのは、道路位置指定により整備された道路でありまして、平成7年5月30日に南風原町が業者から受け入れた経緯がございます。現在町道255号線として町道認定をしております。マンホール及び環境につきましては町の管理となります。道路の排水機能による事故等が無いよう点検し、補修、修繕を行ってまいりたいと思えます。

Q) マンホールあるんですけど、周辺はひび割れしていて、ちょっとまずいんじゃないかと思うんですけど。資料の1番のマンホールから2番の突き当たりのマンホールは高低差2mぐらいあるものですから、大雨ふると全部流れていって冠水するんですよね。大雨もいつ降るかわからない。グレーチングなど考えて出来ないでしょうか。

A) どういう形で接続されているかですけれども。通常のように開発されていないんですね。開発業者がやったのを引き取った形なのですが・・・

Q) 高低差があると仰ったように、1番と2番のところの道路、町道のところあります。マンホールがございますよね、建物と建物の間細い道路がコの字型になっております。1番の所は、坂なっているので水がそこにある程度流れるんです。だけど2番目の所はセメンの方で間隔でしかないなので、ほとん

ど全部下の方へ流れるんです。高いところから低いところへ水が流れますよね。駐車場に全部水が溜まるんです。オートバイも使えない状態。2番の方の側溝はセメンで止められているので、その穴が空いたものに変えて欲しいというお願いなんです。マンホールと排水溝が繋がっているんですけども、はげが悪いので台風の際は草木が全部溜まって流れない状態。せめて水はけが良いようになっておれば、ある程度はできるんじゃないかなと思って。マンホールを管理する時に、ちゃんと流れるような状態になれば助かるなと思って。今日は、こういう機会があったのでお願いに参りました。それとこの事情も説明をして同じようにマンホールを見るのであれば、そういう状況も分かって欲しい。

A) 状況確認してですね、もし宜しければどなたかが、まあ区長さん通しても同行いただいて、現場で説明して頂けると有り難いと思うんですけど。水が溢れるという状況を見てないものですから。開発自体この状態で充分雨水等を処理できるという状況で造られたと思うんです。しかし現状、こういうお話ありますので、確認して対処していきたいと思います。

質問5 グリーンベルト要望について

(7班・南城市や国道等への通り道で通学路もあり歩行者がより安全に通れるようにするために現在あるグリーンベルトを大きくできないか)

A) グリーンベルトを設置する基本的な考え方なんですけど、現況道路内で車両が通る幅を 4.5m 確保して、残り部分についてグリーンベルトを設置しております。当道路につきましても、その考えに基づいて設置しておりますが、狭隘部分の一番狭いところの 5.5m ありまして、その部分のグリーンベルトが 1.0m という事で、極力 1.0m 取るようにしてそれにあわせてグリーンベルトを設置しております。現場を確認してですね、グリーンベルトが消えかかっている部分などは塗り直す等で対応を検討して参ります。

Q) 安全に通れるようにする為に、現在あるグリーンベルト大きくできないかという質問なのですが、この回答は与那覇の部落の事を考えられていない。回答出来ていないと思う。幼稚園生とか小学生・中学生が通るところ、与那覇部落の人の通学路になってるんですよ。

A) 現在、町内のグリーンベルトの設置はですね、南風原町内においては、今、与那覇区のこの部分と兼城の南風原スポーツ店の向かい側の道路、津嘉山の区画整理地内の一部にグリーンベルト設置をしている状況であります。グリーンベルトにつきましてもは全体的にある程度、基準を作らないと、ある程度車両が通れるぐらいの幅を確保し、それから歩行者や交通車両に対しての意識付けといいますか、歩行者が通るための安全帯ですよという認識をさせる

為に、極力 4.5m から残った部分に設置しているということでご理解頂きたいなという所でございます。

- Q) グリーンベルト 1.0m はついていますか？ 1.0m はついていないはずです。
- A) 設置した箇所につきましては約 5.5 mの幅員があるんですけども、設置の基準としては、道路の基準といいますか、田舎の車のあまり通らないところの基準というのもあり、5.5m 以下の幅員ですとグリーンベルトの設置はできないんじゃないかなという事で、車道と路肩で 4.5m、残りの 1 mをグリーンベルトを設置しております。今回のグリーンベルト設置も同様の考え方ですけど、白線も含めて 1.0m を取っています。施工の上でやはり少し狭いところ、90 cmしかないところもありますが、ラインはスムーズに引かないといけないという考え方でグリーンベルトは設置しているという事でご理解を頂きたい。今回、色が薄くなっているところもありますので、補修してこうと考えております。
- A) 1.0m は取ろうという事で引いてるんです。白線も含めてですね。1.0m 無いんじゃないの？という事でございましたけれど、確かにこちらでも計ってみたら 90 cmぐらいしかない所もございました。
- Q) 今の提案をさせてもらっているのは、通勤通学時、子ども達と車との距離があまりにも近すぎるという事でありにも危ないと。また、スピードも出して通る車が結構いるんです。それでどうにか通れる幅をもっと大きくしてもらえないかという質問だったんです。今お話聞いていたら、そういう安全の問題ではなく幅の問題。そういう風に回答している様に聞こえるんです、そうではなく通勤通学の時子ども達とか、結構高齢者の方も歩いているんですけど、その時にも安全面っていう所からのどうにか出来ないものかという事で質問していると思うんです。その辺どうかという事でお答えしてもらっていいですか。
- A) 単にグリーンベルトということだけではなくて、別の方向も考えながらですね、後で一緒に相談させて頂けませんか。相談しながら内容も変わってきたりしますので、色々な手法を考えながら、この場所ではどういう方法がいいのか考えながら、もっと相談して行きたいなと思いますので、単純にグリーンベルトを大きくという話ですと、そういう基準の話になってしまうものですから、子ども達の安全を守るという事であれば、単にそれだけの方向じゃなくて別の方法ないかと考えながらまた区長さんなり字と調整して行きたいとおもいます。
- Q) グリーンベルトは通学路ですけど、子どもたちが安全に通行できるようにできますか？この道路は学生が安全に通れるように作ったものですよ、さとうきび運搬のトラックも通ったりして、子どもたちが安全に通れるところ

が狭いんですよ・・・

A) 道路の基準もあるものですから、どうすれば安全に通れるか別の方法も検討して、そういう方向へもって行けるようにやっていきたいなど、どうすれば安全に通れるか、より安全か役場も地域も一緒に考えて区も一緒に今から考えていきましょうという事です。グリーンベルトじゃなくて別の方法も探りながら。

【区民からの質問及び提案】

Q) 町道 1 号線なんですけど、最近交通量も増えてきているんですけど、道路の拡張などの計画は町ではありますか？

A) 現在、南風原・与那原バイパス工事も行っておりますが、町の全体的な計画等もあるのですが、1号線につきましては拡張等の予定はございません。現在町の方で道路改良事業は5本あるのですが、まずはその事業を終了させてからですね、すぐにとはいかないんですけど、皆さんの御意見も踏まえながら検討していければと思います。

Q) 南風原町自体の下水道の現在の接続率はいかがなんですか。

A) 南風原町全体の約 70%くらいは事業計画が入っておりまして、整備率としましては約 60 %くらいですね。聞きたいことは、この区域はいつごろから計画に入りますか？ということだと思いますが、今現在は与那原バイパスから与那覇の裏側、宮城については下水道の計画区域に入っておりません。下水道を整備するにはまずその計画に入れないといけないものですから、まずはその整備計画を見直しして、それから事業に入っていくという流れになります。未整備地区が現在津嘉山の区画整理地内を重点的にしておりまして、次の計画の見直しの時に、与那原バイパス以南についても入れてから取り組んでいければと思います。

意見) 災害時の避難訓練に関係する部分あるかと思うんですけど、与那覇は福祉マップ作ってるんですけど、それに関連して一覧表にして、支援出来るようにしようとして作っているんですけどね。いわゆる私は寄留民ですから、あまりよく名前を知らないんですよ。一つの例ですが、与那覇は新垣さんとか島袋さんが多いのですが、その一覧表などに島袋さん何番地、新垣さん何番地と出てくるんですよ、下の名前がなくて。私がどうして名前が入っていないんですかと聞くと、個人情報もあって中々聞けないとのことなんですね、全部が全部というわけではないでしょうけど。同姓の方が複数いて、何番地の誰々さんと言われて、すぐ場所が分かる人はいいと思いますけど。個人情報の問題もあるはずなので、やってくれとまでは言いませんけど、例えば区

長から役場の担当者に趣旨説明をして、こういう理由で作るので下の名前まで教えて下さいというようにして、福祉マップを整備した方がいいと思うんですけどね。

それと、グリーンベルトですけど、確かにグリーンベルト大事だと思うんですけど、幅員との関係も大きいとお答えと感じたものでしたが、もちろん反対ではないのですが、闇雲にグリーンベルトを広げると車道の幅員が狭くなる、逆に子どもたちは学校でグリーンの所は通っていいんだと教わりますよね、当然子どもたちは広がって歩きますよね、ところが幅員は変わらない、運転手のマナーの問題だと思うんですけど、車は結構スピードを出して通るんですよね。逆にグリーンベルトの幅を広げることで危険も大きくなるのかなとも思いますので、そのあたりは慎重に検討してもらって対応を考えてもらえればと思います。

Q) 与那覇十字路から 13 号線の道路なんですけど、交通量が多くて、対向の車が一時ストップしてしか通れないので、道路拡張工事をして車両がスムーズに通れる様に道路拡張工事をお願いできないでしょうか。

A) 先程の 1 号線の回答と重なりますが、すぐと言いますと事業実施中の路線もあって厳しいですが、安全確保などすぐ出来そうなものであれば、例えば一部拡幅など出来るのであれば、このあたりは現場も確認しながら、ただ拡幅ということだと事業費がかかりますので、検討していきたいと思います。

意見) 今の件も含めて、こちらの 13 号線と先程のグリーンベルトもですね、与那覇区が抱えている問題として、やはり交通量が多くて迂回していく車が多いんですね、出勤時はイオン南風原店の十字路から豊見城向けに高速に入っていく、そしてカツ亭のところの交差点から左折して入っていくとすぐ高速に乗れるから、急いでスピードが出て子どもたちも危ない、例えばイオン南風原店の十字路の車線を増やすとか、13 号線も拡幅するとか、まあ私が思うのは、スピードを出さないようにするためのランプを 2m おきに設置したりすると、減速して車も通るんじゃないか。高齢者だったり子ども達ヒヤリハットしたこともあるので、このような道路整備をしていただければなと思います。

Q) 329 号線沿いの、カツ亭の手前の交差点を与那原から大里方面に信号機を左に曲がる道幅が狭くて、また大里方面からきた車が 329 へ出る際に停止線より前に止まっていると、329 からきた車が中々左折出来ない、そこをどうにかしてもらいたいという事もあったんですよ。それについて答えられるのであればお願いしたい。どうにかして広げられないかと思うのですが、宜しくお願いします。

- A) ご指摘の箇所につきまして、国道も関わってくるものですから、簡単に出来るものではないので、検討したいと思います。
- Q) 与那覇での防災訓練計画がないんですかという事ですが、今月号の与那覇だよりでも、9月1日土曜に与那覇地区でも防災訓練を行う予定です。当日は訓練放送の後、公民館までの避難経路の確認、例えばどこか壊れていないかとかひび割れしていないかとかを確認してもらうという事で、まずは公民館まで来てもらうと、そして公民館では期限切れしそうな非常食を炊き出しとして使ってみると。そして午後から、町と与那覇、宮城等の何カ所かと、皆さんがおつきあい出来るのであれば最後までやっていただきたい。
- A) 9月1日は午前中に協力出来る自治会は防災訓練をやっていきましようとする案内しておりますので、各自治会連携して防災訓練を行っていききたいと考えております。
- Q) イオン南風原から北丘小学校に向かって橋があって、そこが氾濫したところとかあるのですか？雨が降った時は河川の氾濫がよくあるのかなと？
- A) 国のバイパス事業で新たに橋を造っており、既存の橋は撤去される予定です。ご指摘の箇所は今現在で、河川の氾濫と言うのは聞いたことはありません。
- Q) 役場の入り口の右側に喫煙所あるのですが、イメージを損なうんじゃないかなと。外部から来て入り口のすぐそばにあるのはどうかなと思うのですね。もちろん来客者のことを考えての事だと思うのですが、例えば団地側に移動させるとか、町としての姿勢も失礼じゃないかなと感じています
- A) ご指摘の喫煙所は基本的に来客者が利用しており、一部職員もおりますが、喫煙スペース自体限られておりますので、今後、どの場所が良いのか検討していきます。
- Q) 今日は、町民の声を聞いて一緒にやっといこう、ということだと思っておりますけど、私が今日感じた事は、お役所の仕事も大変だということは凄く分かります。ただ、こちら側としては言いたくても言えない部分もありながらお話しているのに対して、もう少し理解はして欲しいなと感じます。こういった機会を持っていただいたことには感謝しておりますけれども、役所の方々も、どこまで我慢して訴えているかという気持ちも受け止めて欲しいなと思います。今日は長時間ではありましたが、来て良かったなと思うことと、これまで思っていたことを伝えられたので安心して帰れます。今日はありがとうございました。
- A) どうもありがとうございました。ただいま御意見がございましたようにですね、町としましては基本的に町民の皆様のお話を聞いて、仕事を進めさせていただくプロセスとなっております。ただ職員の方から回答もありましたように、まあお分かりとは思いますが、役場の方では事業を推進するからに

は予算をつけていきますと、これはどういった事情でどういった目的で、どれくらいの予算がかかるかというのを具体化しまして、計画書を作成してそれを議会に提案しまして、議会の承諾を得まして、予算がつくと。それが町民の皆さんから要望があったということで事業として進めていくという手順もあるものですから、中々うちの部長のみなさんも歯切れが悪いところもございましたけれども、しっかりと予算があるのであれば、一日も早く対応いたしますという回答もできるのですが、予算が確保されていないものもあるものですから、とりあえず町民の皆さんの声を聞いて、これから事業に取り組みましょうとか、あるいはまたしばらく時間がかかりますよとか、それぞれの対応の仕方になるものですから、そのあたりはご理解お願いしたいと思います。最初にも申し上げましたように、町職員というものは町民の皆様がオーナーでございまして、我々は皆さんからの意見や提案に基づいて仕事をさせていただいておりますので、皆様も是非ですね、このように丁寧にキャッチボールしながら、これからは是非御意見などありましたら、役場の方に提案いただければと思います。本日は誠にありがとうございました。